

## 平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年7月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 カルラ  
 コード番号 2789 URL <http://www.re-marumatu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画担当取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月13日

(氏名) 井上 修一  
 (氏名) 清水 あさ子  
 配当支払開始予定日 未定

TEL 022-351-5888

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	2,221	0.0	65	35.4	61	79.6	51	475.3
21年2月期第1四半期	2,221	△11.3	48	397.0	34	442.9	8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	8.83	8.80
21年2月期第1四半期	1.53	1.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
22年2月期第1四半期	6,563	36.1	2,367	36.1	409.53	409.53	409.53	
21年2月期	6,486	36.2	2,345	36.2	405.71	405.71	405.71	

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 2,367百万円 21年2月期 2,345百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	—	—	5.00	5.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,608	△1.1	153	142.9	130	233.3	55	—	9.51
通期	8,616	△0.9	225	—	200	—	80	—	13.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第1四半期	5,794,112株	21年2月期	5,794,112株
② 期末自己株式数	22年2月期第1四半期	13,544株	21年2月期	13,544株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第1四半期	5,794,112株	21年2月期第1四半期	5,793,962株

**※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

1.上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、世界経済の急速な悪化が引き続き深刻さを増しており、企業収益の悪化が続き、雇用情勢も厳しい状況にあり、先行き不透明な状況が続く中で推移いたしました。

このような状況の下で、当社は和食のファミリーレストランとしての原点回帰を図り、和食の基本である刺身・天ぷら・すし・そば・うどんの商品力強化により競合他社との差別化を図り、既存店の活性化に努め、目標達成に取り組んでまいりました。

平成21年3月にはグランドメニューの改訂を行い、「まるまつ」の強みである水産物の仕入力を活かし、和食のベーシックアイテムを強化した商品提案を行い、売上高はほぼ計画通りに推移いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、冗費の削減、マネジメント力強化に取り組んでおりますが、人件費が前年同四半期比 $\Delta 7.2\%$ 、エネルギー費が同 $\Delta 10.4\%$ となりました。

以上の結果、売上高 22 億 21 百万円(前年同四半期比 0.0%)、営業利益は 65 百万円(前年同四半期比 35.4%増)、経常利益 61 百万円(前年同四半期比 79.6%増)、四半期純利益 51 百万円(前年同四半期比 475.3%増)となりました。

※前年同四半期増減率は参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1)資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は 65 億 63 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 76 百万円増加いたしました。

流動資産の合計は 7 億 38 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 1 億 6 百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加 91 百万円によるものです。

固定資産の合計は 58 億 24 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 30 百万円減少いたしました。これは主に敷金及び保証金の減少によるものです。

負債総額は 41 億 95 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 54 百万円増加いたしました。これは主に買掛金の増加によるものです。

純資産は 23 億 67 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 22 百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益 51 百万円、配当金の支払額 28 百万円等によるものです。この結果、自己資本比率は 36.1%となりました。

## (2)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は 3 億 68 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 91 百万円増加いたしました。

営業活動の結果得られた資金は、2 億 80 百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益 57 百万円、減価償却費 89 百万円、仕入債務の増加 1 億 54 百万円等であります。

投資活動の結果使用した資金は、15 百万円となりました。主な要因は、成田店の底地購入等固定資産の取得による支出 44 百万円、敷金及び保証金の回収による収入 21 百万円等によるものです。

財務活動の結果使用した資金は 1 億 74 百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成21年4月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法を採用しております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目及び税額控除項目を重要なものに限る方法によっております。また、繰延税金資産回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

(たな卸資産の評価基準の変更)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、評価基準について原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更による当第1四半期連結会計期間の損益への影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	368,377	277,289
売掛金	8,827	6,454
商品及び製品	132,190	140,020
原材料及び貯蔵品	45,355	43,624
その他	183,959	164,435
貸倒引当金	△45	△46
流動資産合計	738,663	631,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,128,137	2,144,065
機械装置及び運搬具(純額)	65,251	70,063
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	255,434	261,589
土地	1,714,099	1,667,689
建設仮勘定		5,980
有形固定資産合計	4,162,922	4,149,388
無形固定資産	107,165	112,045
投資その他の資産		
長期貸付金	661,010	670,210
敷金及び保証金	709,488	730,113
その他	183,990	192,889
投資その他の資産合計	1,554,488	1,593,212
固定資産合計	5,824,576	5,854,646
資産合計	6,563,240	6,486,424
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	429,752	274,982
短期借入金	310,040	320,030
1年内返済予定の長期借入金	907,520	925,740
未払法人税等	10,016	45,669
賞与引当金	21,450	10,675
ポイント引当金	2,332	1,921
その他	453,932	389,659
流動負債合計	2,135,044	1,968,678
固定負債		
長期借入金	1,860,199	1,971,654
長期未払金	175,675	175,675
その他	24,998	25,211
固定負債合計	2,060,872	2,172,540

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債合計	4,195,916	4,141,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200,987	1,200,987
資本剰余金	938,559	938,559
利益剰余金	257,322	235,204
自己株式	△29,546	△29,546
株主資本合計	2,367,323	2,345,205
純資産合計	2,367,323	2,345,205
負債純資産合計	6,563,240	6,486,424

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	2,221,628
売上原価	743,287
売上総利益	1,478,340
販売費及び一般管理費	1,412,961
営業利益	65,379
営業外収益	
受取利息	4,695
協賛金収入	1,846
受取賃貸料	6,931
その他	3,365
営業外収益合計	16,839
営業外費用	
支払利息	10,960
賃貸費用	3,499
その他	6,248
営業外費用合計	20,708
経常利益	61,510
特別損失	
店舗閉鎖損失	3,483
固定資産除却損	63
特別損失合計	3,546
税金等調整前四半期純利益	57,963
法人税等	6,943
四半期純利益	51,020

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	57,963
減価償却費	89,381
受取利息	△4,695
支払利息	10,960
固定資産除却損	63
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,099
仕入債務の増減額 (△は減少)	154,770
その他	24,303
小計	338,846
利息の受取額	4,688
利息の支払額	△10,960
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△52,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	280,425
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△44,964
貸付けによる支出	△2,066
貸付金の回収による収入	11,266
敷金及び保証金の差入による支出	△940
敷金及び保証金の回収による収入	21,572
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,132
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の返済による支出	△9,990
長期借入れによる収入	45,000
長期借入金の返済による支出	△174,675
長期未払金の返済による支出	△5,576
配当金の支払額	△28,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,205
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	91,088
現金及び現金同等物の期首残高	277,289
現金及び現金同等物の四半期末残高	368,377

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)

当社グループはレストラン事業の売上高、営業利益の金額が全セグメントの売上高、営業利益の金額の合計額の90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

(所在地別セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

(海外売上高)

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

## (1) (要約)四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月1日～平成20年5月31日)

	前年同四半期 (平成21年2月期第1四半期)
区分	金額(千円)
I 売上高	2,221,108
II 売上原価	687,568
売上総利益	1,533,539
III 販売費及び一般管理費	1,485,241
営業利益	48,298
IV 営業外収益	2,971
V 営業外費用	17,018
経常利益	34,252
VI 特別利益	—
VII 特別損失	4,573
税引等調整前四半期純利益	29,678
税金費用	21,327
少数株主損失△	△518
四半期純利益	8,869

## (2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月1日～平成20年5月31日)

	前年同四半期 (平成21年2月期第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前第1四半期純利益	29,678
減価償却費	104,815
受取利息	△500
支払利息	11,270
たな卸資産の増加額	△31,674
仕入債務の増加額(△減少額)	18,786
その他	△15,564
小計	116,810
利息の受取額	500
利息の支払額	△11,270
法人税等の支払額	△27,582
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,458
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△68,377
貸付による支出	△8,120
貸付金の回収による収入	16,019
敷金・保証金の差入による支出	△14,054
敷金・保証金の返還による収入	23,266
その他	△11,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,426
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△168,181
割賦未払金の支払による支出	△14,534
新株発行による収入	3,266
配当金の支払額	△57,844
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237,293
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△221,261
V 現金及び現金同等物の期首残高	398,989
VI 現金及び現金同等物の期末残高	177,727